



持って、歩いて、ひもとごう

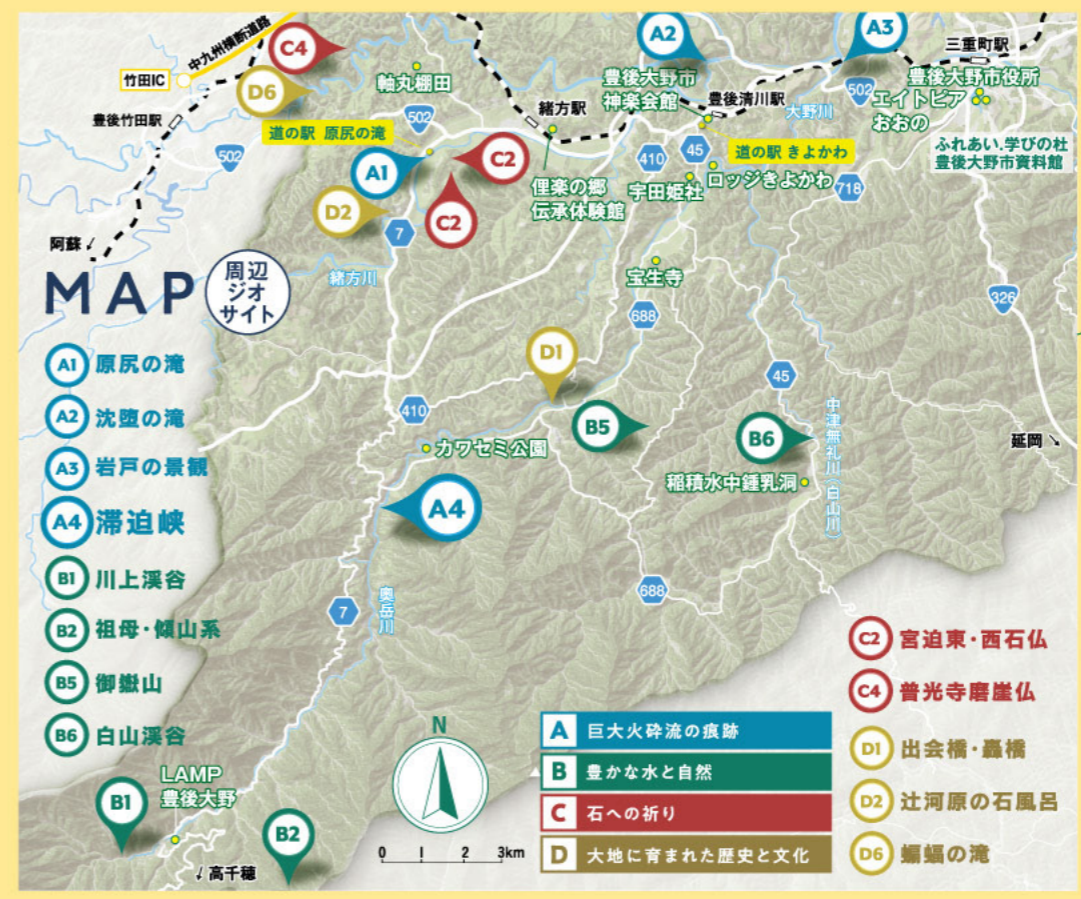
BUNGOONO GEOSITEFILE
豊後大野ジオサイトファイル

滞 迫 峡

TAIZAKO CANYON / OGATA



おおいた豊後大野ジオパーク
Oita Bungoono Geopark



周辺情報



道の駅 原尻の滝
大分県豊後大野市緒方町原尻 936-1
☎0974-42-4140 📠190台
🕒9:00~17:30 (季節時間有)
とれたての農産物や加工品などの特産品が並ぶ。ふるさとメニューが揃うレストランはスペースも広く、ゆっくりくつろげる。

おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 <http://bungo-ohno.com>
〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場 1200 番地 豊後大野市商工観光課内
TEL 0974-22-1001 (代表) FAX 0974-22-3361

おおいた豊後大野ジオパークガイド
TEL.080-2708-7809



TAIZAKO CANYON / OGATA

激しさと 優しさの景観。

豊後大野ジオサイトファイル

滞 迫 峡

清く美しい奥岳川おくだけがわの流れは、遙か下を流れています。そして、その崖にはいく筋ものひび割れがタテに並んでいます。この深い谷は、約9万年前に起こった阿蘇火山あそかざんの噴火による賜物です。阿蘇火山がおこした大噴火は超巨大な火砕流かさいりゅうを生み出しました。それから約9万年、再び祖母傾山系より湧き出る水がこの深い渓谷をつくり、「火砕流が冷えて固まった岩」を露わにして、類い希なる景観を生み出しました。滞迫峡を象徴する岩壁の高さは、70mをこえ「高温、大量の火砕流が一度溶けて固まった岩」の特徴である、柱状節理ちゆうじょうせうりをよく見せています。

この柱状に入ったひび割れ「節理」によって、切り立った崖がつくられたのです。

それは、 約1400万年前にも遡ります。

滞迫峡は、大野川支流「奥岳川」により形づくられました。阿蘇火山が約9万年前に引き起こした超巨大火砕流によって谷は埋められてしまいましたが、川の流れは再び岩を削り深い谷をつくりました。

奥岳川は、祖母傾山系の豊かな自然林を源とするため、青く澄んだ溪谷となっています。その溪谷の底には、約9万年前の阿蘇溶結凝灰岩やそれよりはるかに古い約1400万年前の祖母山系火山岩類などがあり、地球の長い歴史と美しさを体感することができます。

1 滞迫峡の大岩壁

奥嶽橋の下流には、高さ約70mに達する阿蘇溶結凝灰岩の絶壁が切り立っています。この壁には、柱状節理（柱状のひび割れ）が縦に長く入っているため、柱が倒れるように壊れます。そのために垂直な切り立った壁ができるのです。

この溪谷には阿蘇溶結凝灰岩の他に、約1,400万年前の火山活動で噴出した祖母山火山岩類の丸みを帯びた岩肌も各所に顔をのぞかせています。阿蘇溶結凝灰岩の柱状節理と祖母山系火山岩類の岩肌が絶妙な対比を見せており、青くすんだ水流とともに溪谷美を描き出しています。



2 樹皮の印象化石

写真(上)は、溶結凝灰岩に残された木の皮の印象化石です。火砕流に巻き込まれた木は押しつぶされ燃えてなくなりますが、皮の模様は火砕流が固まった岩にのこされます。滞迫峡では、あちこちで木の皮の印象化石が発見されています。

また、木が完全に燃えてしまわずに炭化木になったもの(写真下)もたくさん見つかっています。



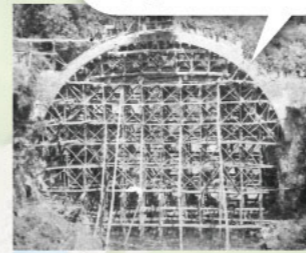
凝灰岩に残された木の皮の模様



炭化した木

4 犬返橋

緒方町小原と滞迫を結ぶアーチ式石橋で、大正14年に完成しました。深い滞迫峡を渡る石橋ができたことで、滞迫の人々は歓喜しました。大正11年に豊肥線緒方駅が開業したことが、石橋建設のきっかけになっています。



建設中の轟橋、アーチを組む様子がよくわかる

3 奥嶽橋

奥嶽橋は、滞迫峡(奥岳川)に架かる鉄橋で、高さ75m、幅7m、延長170m、アーチ高28mです。平成13年に完成しました。建設の目的は、幹線林道宇目～小国線を結ぶためです。

奥嶽橋は、「下路式平行弦ニールセンローゼ橋」という型式です。

下路式平行弦とは、平行に渡された2本のアーチの下側に通路をつくることです。ニールセンローゼとは、アーチと道路を斜めに張ったケーブルで結ぶ構造をいいます。



まるでカーテンみたい。

ジオガイドさん

カメラポイント
柱状節理を間近に見ることができます。

階段注意

溶結凝灰岩

溶結凝灰岩は、火砕流が冷えて固まったものです。約9万年前に阿蘇火山が4回目の大噴火を起こし、九州のほとんどは火砕流で覆われました。この時できた溶結凝灰岩を、阿蘇-4溶結凝灰岩といいます。数百度を越す火砕流堆積物は厚く積もり、自分自身の持つ熱で溶けてしまいます。その後、徐々に冷えていき、岩となります。溶けたのちに再び固まるので、溶結凝灰岩といいます。

火砕流

火山が噴火したときに、火山ガス・軽石・溶岩・岩片などが入り混じった高温の物質が、大量に空中に噴き上がることがあります。高温の物質が落下し、火山周辺の地表を覆いつくしながら流れ下る現象を、火砕流といいます。

柱状節理

液体が冷やされ、個体になる時、収縮し田んぼのような地割れが縦方向に伸びることがあります。柱のような割れ目のため柱状節理と呼ばれます。



阿蘇火砕流の
流路イメージ図